

平成 29 年度

議会報告会開催概要



目 次

平成 29 年度議会報告会開催概要	1
会場別開催概要	3
釧路市役所.....	5
釧路市中部地区コミュニティセンター（コアかがやき）	7
釧路市男女平等参画センター（ふらっと）	11
釧路市鳥取コミュニティセンター（コア鳥取）	16
阿寒町公民館	21
音別町コミュニティセンター.....	25
釧路市東部地区コミュニティセンター（コア大空）	28
アンケート集計結果.....	35
(参考資料) スライド.....	41

平成 29 年度議会報告会開催概要

釧路市議会は、市民に開かれた議会を目指して、平成 23 年に「釧路市議会基本条例」を制定した。本条例では、市民に対し議会が持っている情報を積極的に発信して説明責任を十分に果たさなければならないこと、議員と市民が情報や意見を交換する場をより多く設けるよう努めることなどを定めており、その一環として開催するのが「議会報告会」であり、本取り組みは今年で 7 年目となる。

【開催日程】

昨年に引き続き、阿寒地区及び音別地区を含めた市内 7 会場で開催した。

開催日	開催時間	会場
10 月 23 日(月)	18:30～20:00	釧路市役所（市議会議場）
10 月 24 日(火)	18:30～20:00	釧路市中部地区コミュニティセンター（コアかがやき）
10 月 25 日(水)	10:00～11:30	釧路市男女平等参画センター（ふらっと）
	18:30～20:00	釧路市鳥取コミュニティセンター（コア鳥取）
10 月 26 日(木)	18:30～20:00	阿寒町公民館
	18:30～20:00	音別町コミュニティセンター
10 月 27 日(金)	18:30～20:00	釧路市東部地区コミュニティセンター（コア大空）

【プログラム】

議長（副議長）による開会挨拶、議会改革の取り組み紹介に引き続き、9 月定例会の概要として、日程、主な質疑・一般質問、各委員会の主な審査内容及び審議結果を報告した後、参加者との質疑応答、意見交換を行った。

-
- 1 開会挨拶
 - 2 議会改革の取り組み紹介
 - 3 9 月定例会の報告
 - (1) 日程
 - (2) 主な質疑・一般質問（6 項目）
 - (3) 各委員会の主な審査内容
 - ・総務文教常任委員会
 - ・経済建設常任委員会
 - ・民生福祉常任委員会
 - ・水道事業審査特別委員会
 - ・石炭対策・関連エネルギー調査特別委員会
 - ・都心部市街地整備特別委員会
 - (4) 審議結果
 - 4 質疑応答、意見交換
 - 5 閉会挨拶

会場別開催概要

釧路市役所

開催日時	平成 29 年 10 月 23 日(月) 18:30～19:20
会 場	市議会 議場
参加人数	4 人
出席議員	渡辺慶藏 議長 伊東尚悟 議員（議会運営委員会委員） 月田光明 議員（総務文教常任委員会委員） 草島守之 議員（経済建設常任委員会委員、石炭対策・関連エネルギー調査特別委員会副委員長） 河合初恵 議員（民生福祉常任委員会委員、議会広報特別委員会副委員長：司会） 大越拓也 議員（都心部市街地整備特別委員会委員、水道事業審査特別委員会委員）

意見	Jアラートが作動した際の対応について、国から示されている避難行動だけではなく、釧路市としてのより現実的な対応を示してほしい。
河合議員	今定例会においても議員から、Jアラートが作動した際に、携帯電話やスマートフォンを持っていない方への対応をどのように検討しているのかとの質問があり、理事者からは、今後携帯電話等を持っていない方々への情報伝達手段を検討していくとの答弁があった。

意見	今後釧路市の人口が減少していく中で、コンパクトシティの構想も出ているが、将来に向けての理念や方向性を見出してほしい。また、市民の中にはすばらしい意見を持っている人がたくさんいるので、それらを吸い上げる仕組みがあるべきではないか。
月田議員	釧路市は急速に人口減少が進んでおり、まちの集約化と高機能化を図りつつ、市民が生活しやすいコンパクトなまちづくりについて議論した。 立地適正化計画は、都市機能の誘導エリアを設定し、これからの釧路の社会にとって必要な都市機能が、歩いて移動できる範囲の中で集積されていく姿を描いたゾーンの設定を行った。 今後、釧路市がやるべきもう一つのエリアの設定は居住誘導区域、今の市街化区域であるが、当初は 20 数万人の人口設定でつくったまちづくりであるので、居住エリアをコンパクトにすることによって地域コミュニティの向上を図ったり、都市機能誘導区域の周辺に住宅の集

	<p>積が図ることができれば利便性も高まるのではないかと狙いがある。これは今年度中に設定することになっているが、釧路のまちの規模に適した居住誘導区域の設定がどこまでできるか、これは大きな課題であり、住民の皆さんとの合意を図りつつ進めていかなければならないと考えている。</p> <p>これに付随して公共交通網の形成計画についても議論を進めている。公共交通がもっと使いやすく、生活している皆さんのこうあってほしいという願いがかなうようなあり方についてどうするか。今後の運行方法の多様化や、拠点から枝葉に向けてつないでいく、これまでにない路線の設定も含めて、さまざまな意見を聞きながら、一定の方向性を見出したところだが、細部については今後も会議を重ねて進めていくべきものと考えている。</p>
草島議員	<p>水道料金問題や総合計画などのときにも市民の方々のご意見を踏まえ各種審議会を通じ議論してきた。我々議員がしっかり住民の意見を受け止め、それをまた生かしていきたいと考えている。</p>

意見	<p>議員の視察をもっとたくさん行うべきである。視察の内容を説明する報告会を開催し、市民のみならず行政職員にも参加させてはどうか。</p>
渡辺議長	<p>議会として視察の報告会は行っていないが、市議会のホームページの中で視察の詳細を報告してきている。</p>
月田議員	<p>視察の内容等は、議員個々にはフェイスブックやブログで公開しており、視察に行くだけではなく、そこからどのように発信するかは議員それぞれの問題意識や方法の中で取り組んでいる。</p>
草島議員	<p>一般質問や委員会においても、視察先での内容を市政に生かそうという議論は既に行っているため、ご理解願いたい。</p>

釧路市中部地区コミュニティセンター（コアかがやき）

開催日時	平成 29 年 10 月 24 日(火) 18:30～19:47
会 場	学習室兼会議室 A・B
参加人数	6 人
出席議員	秋田慎一 副議長 松橋尚文 議員（議会運営委員会委員、民生福祉常任委員会委員長） 金安潤子 議員（総務文教常任委員会委員長） 宮田 団 議員（経済建設常任委員会委員、都心部市街地整備特別委員会委員、水道事業審査特別委員会委員） 森 豊 議員（石炭対策・関連エネルギー調査特別委員会委員長、議会広報特別委員会委員：司会）

意見	<p>以前は各所で見かけた政党の看板は最近ほとんど見なくなってきているが、美原に一部残っていたため、選挙管理委員会事務局に確認したところ許可していないとのことであり、担当部署の職員が撤去しに行った。公有地への看板の設置は、役所から貸し出しを受けた上で設置するものであるが、どう考えるか。また、役所にもチェック機能を持たせるべきであり、議員からも投げかけてほしい。</p> <p>観光立国ショーケースの取り組みを進めているが、まわりも国道沿いの公有地にもいまだに政党等の看板が見られ、観光客等に対する印象もよくない。</p>
金安議員	<p>総務文教常任委員会でも議論になっており、選挙管理委員会事務局が市民からの通報等があるごとに対処しているが、対応しきれていないようだ。公有地に看板を立てるのはそもそもだめであり、正していかなければならないという意見があった。</p>
宮田議員	<p>立ててはいけないところに立てている看板については、自分も善処していきたい。</p>

質問	<p>観光立国ショーケースなどの観光振興に取り組んでいるが、観光客が幣舞橋の上から夕日を眺める姿は、市民としても誇れるものであるが、冬場は歩道除雪がままならない状況である。今度、ボランティア団体を立ち上げ、幣舞橋の歩道の除雪を行うことにしたが、議員の立場で、このまちに対する思いを教えてほしい。</p>
----	---

宮田議員	ボランティア団体を組織し、歩道の除雪に取り組んでいただけることは大変ありがたい。歩道の除雪は市民からの要望が多い部分であり、議会でも議論になっている。通学路や病院付近などは優先的に行っているが、全ての歩道を除雪する財政的余裕がなく、市民の協力も得ながら取り組んでいるが、十分でない部分もあると認識している。釧路特有の気候の問題もあり、路面がツルツルになることも大きな問題と認識している。地域の方と連携してやっていきたい。
------	--

質 問	これまでも火力発電所建設やMOOのプール廃止、図書館建設などさまざまな問題があったが、いろいろ尾を引いて決着が遅くなり、市民の連帯感にとってマイナスである。市議会議員は、市民の意見をどのように把握しているのか。例えば、図書館や火力発電所などの問題は、事前にあのようなことになることが予想できなかったのか。
森 議員	火力発電所に関しては、事前の説明不足が言われており、議会としても理事者のほうへ話をしている。事業会社が建設地付近で地域ごとに説明会を開いたが、それでは足りないということで、プラザさいわいで説明会を開催した。市としても、さらに細かい説明を行うべく動いているところである。
秋田副議長	身近に市民と会う場面は多く、さまざま対話をしているが、火力発電所の問題では市民の意識にも濃淡があり、建設地周辺住民は敏感であるが、芦野、愛国、美原といった地域ではそうでもないといったこともある。日常の議員活動の中では、全市的な問題よりは、道路がどうか、市営住宅の階段がどうか、日常生活の困りごとを相談されることが多い。図書館などの大きな問題になれば、いち早くキャッチできることもあれば、マスコミ報道等で知ることもある。図書館の問題については、閉館中に本館の図書は借りられないのかといった相談はされても、図書館の建物そのものについて質問されることはなかなかないが、会派で新しく図書館を建設した自治体に出向き、実際に見て、どのような建て方がよいのか、費用負担はどのくらいかといった検討は行ってきた。

質 問	先日まちづくり基本構想の説明会が行われ、たくさんの参加者がいたが、議会として今後どう関わるのか。また、今後の展望はどうか。
-----	---

金安議員	まだ素案が出された段階で、先日の委員会で多少、議論しただけの状態であるが、今後の釧路市の根幹を担う基本構想であり、恐らく 12 月議会ですらどう取り組むかといったことが検討されるが、さらに時間をかけて練っていく。
森 議員	議会の議論から市民団体の立ち上げ等につながり、大きな議論になっていくこともある。

質 問	釧路市議会は大学や団体の調査などでも評価されていると思うし、今日の議会報告会の構成もしっかりしているが、参加者が少なく、もったいない話である。昨年等はどのような参加状況だったのか。
森 議員	昨年度はトータルで 94 人、平成 27 年度は 114 人、平成 26 年度は 90 人であった。議会広報特別委員会の中でも、PR の仕方についていろいろな意見があり、連合町内会や各種団体へ周知をお願いしたり、FM くしろにも特別枠をつくってもらい、正副委員長で 15 分程度の PR をしたりしている。また、広報くしろやチラシの配付などでも PR している。

意 見	議会報告会開催の周知に関して、広報くしろやホームページに書かれているものや、ラジオも聞いていたが、自分も町内会長をしている中で、いくら広報しても伝わらない人はおり、どう伝えるかは永遠のテーマであると思う。選挙権年齢が引き下げられたということもあり、ぜひとも高校生や学生など、若い人に知ってもらうべきであると思うので、学校なり生徒会なりに働きかけてはどうか。
森 議員	ご意見として受けとめたい。

意 見	過去に町内会長を務めたことがあるが、町内会の加入率が低く、心をつながり、市民の連帯感が弱くなっていると感じる。どのように連帯感を醸成するかが大事だが、議員としてもどのようにすればよいか考えてほしい。一斉清掃など、体を動かすことが手法の一つであると思うが、いろいろやってみることが大事だと思う。
秋田副議長	私も町内会長をしているが、地域における連帯感をどうするのが難

しく、試行錯誤している。戸建ての人はおおむね町内会に入っており、鉚路市全体では加入率が 50%を切るというのは数字のマジックのようなものがあるかもしれないと感じている。ただ、戸建てでも隣の人の顔が見えないということもあり、どういう連帯をつくるのかは、一市民として取り組んでいく。町内会の加入については議会の中でも議論になっているが、なかなか目に見える形になっていないこともあり、申しわけないと思う。まちづくり基本条例ができたので、これにもしっかり取り組みたい。

松橋議員 町内会加入率の計算式が、連合町内会に加入している町内会の世帯で計算しているため、連合町内会に加入していない市営住宅の自治会などは含まれていないこともあり、他都市と比べることも難しい。私も町内会長をしているが、10月には加入促進月間で各町内会役員が未加入世帯を回っているが、歩いて実際に話をしないとなかなか入ってもらえない。

自分の町内会ではインターネットを活用した広報を行っており、それを見た方が、楽しい活動をしているということで家を建てて引っ越してきた事例もあるが、それぞれの町内会での活動が重要であると思う。ただ、事前に参加者を集約して行う新年会などは若い人がほとんど来ない状況にあり、話を聞くと時間に拘束されることは避けたいということであった。その一方、公園などで行う祭りなど自由に参加できる集まりには参加者が多いということもあり、今、町内会の事業形態を考えているところである。

意見 鳥取西中学校の生徒が、樹木枡に花を植える活動をしていたが、学校の先生が変わり、活動がなくなってしまったため、自分の町内会で引き受けて「あいさつ通り」ということで活動を続けている。まちづくり基本条例の中でも学校を通したコミュニティづくりに触れており、こういう場にも若い教員が入ってくる取り組みが必要だと思う。ここに参加している方は、まちづくりに一生懸命取り組んでいる方だと思うし、議員の皆さんにも取り組んでほしい。

森議員 この場に地域の方がもっと来ていただける環境をつくっていくよう、努力していきたい。

釧路市男女平等参画センター（ふらっと）

開催日時	平成 29 年 10 月 25 日(水) 10:00～11:13
会 場	会議室 4
参加人数	4 人
出席議員	秋田慎一 副議長 酒巻勝美 議員（議会運営委員会委員長、総務文教常任委員会委員） 畑中優周 議員（経済建設常任委員会委員、石炭対策・関連エネルギー調査特別委員会委員、水道事業審査特別委員会委員長） 続木敏博 議員（民生福祉常任委員会委員、都心部市街地整備特別委員会委員） 松尾和仁 議員（議会広報特別委員会委員長：司会）

質 問	議会中の議員の質問に対する理事者の答弁として、「検討します」という答弁が多いが、その後どうなったのかがわからない。質問した議員がそれぞれ担当部署と打合せ等をして進めていると思うが、議会だよりだけを見ると「検討します」で終わっているように見える。その後の取り組みなどについて教えてほしい。
秋田副議長	理事者から「検討する」という答弁があったときは、また次の議会で再度質問をしたり、担当部局に確認したりしている。事業を起こすとなると予算が必要であり、結果が出るのに5年も6年もかかることもあった。9月定例会の概要だけを見ると経過がわからないと思うが、今後も続けて議会だよりなどを見てほしい。 また、議会だよりの一般質問の質疑内容は一人1項目しか載らないが、本会議では一人3～10項目程度の質問をしている。各議員個人においてもブログやフェイスブックなどのSNSで議員活動の内容を発信しており、それらも見ていただきたい。今後も市民の皆さんに対し自分が質問した内容についての経過をお知らせしていきたい。

意 見	防災関係について、避難所運営は市、行政がやってくれるだろう、自分は避難所に行って指示に従えばいいだろう、という考えの市民が多い。小規模な災害で避難所が開設されたときは市職員がしっかり動ける体制であり、丁寧な対応をしてくれたが、大規模な災害があったときに市職員が同じように対応するのは難しいと思う。避難所は地域住民が運営することになっているが、市民の意識は低いと感じており、市民への周知が足りないのではないかと。市職員が来なかったとき
-----	--

	の避難所設営は、地域住民が自分たちでやるということを周知してほしい。
酒巻議員	担当部署へしっかり伝えるとともに、そのようなことが起こらないように取り組んでいきたい。

意見	町内会の役割やまちづくりについて、町内会だけではなく、他にも住民の力の引き出し方があるのではないか。年代によっても違うが、60代以上の市民は無報酬でまちづくりに参加している。20～40代は複合的な事情が重なり、地域活動への参加について考え方が変わってきていると思う。社会教育も薄くなってきていると感じるが、若い世代の意識をどうもっていくのか、昔のようにはならないと思うが、行政からの働きかけが必要でないか。
秋田副議長	今、「釧路市まちづくり基本構想」の制定に向けて準備を進めている。制定されたからといってみんながまちづくりに参加するというわけではないが、一人一人がまちづくりについて考えなければならない。昨日の議会報告会でも「もっと若い世代が報告会に参加できるような工夫を」という要望もあった。情報発信のあり方、発信の相手について、広報くしろ、FMくしろ、フェイスブックページなどで広報しているが、ほかにもっとないのか、個人個人に自分の問題だと捉えてもらい、まちづくりに対する意識を共有できるよう、議会の中でもできることを検討してしっかり取り組んでいきたい。

意見	就学前児童の医療費助成について、30数年前に子育てをしていたときに就学前までの医療費が無料で随分助けられた。ぜひまたこの制度を復活させてほしい。
続木議員	少子高齢化の中、子どもを育てやすい環境づくりが重要であり、釧路市も平成28年8月から3歳未満の医療費を無料にしたが、近隣の町村では釧路町も含め小学校就学前の6歳まで無料としている自治体が多く、釧路市は遅れているという議会議論があった。本会議や委員会の中で理事者から「やります」という明言はないが、相当前向きに検討しているという感触は持っており、できるだけ早い時期に小学校就学前までの医療費を無料にできるように、議会としても取り組んでいきたい。衆議院議員総選挙も終わり、国も保育園や幼稚園の教育費を無償化すると言っており、国の動きとしても子どもを産み育てやす

	い方向に進んでいるのではないか。市議会としても実現に向けて積極的に後押ししていきたい。
--	---

意見	就学前児童の医療費の無償化について、自治体によっては中学生まで無料というところもあるが、そこに住んでいる人に聞くと、お金がかからないからと鼻水を垂らただけで受診する人も多く、小児科がものすごく混むということである。無償化は助かるが、医療の現場についても含めて考えてほしい。
-----------	--

続木議員	無償化が実現すると、それに伴う問題が起こることについてもしっかり考えなくてはならない。釧路市のような小児科が少ないまちはそのような問題も発生すると考えられ、いただいた意見を議会や委員会で伝えていきたい。 国民健康保険料についても、現在は市の管轄だが、来年からは道の管轄になる。これからは医療費を抑制していかなければならない時代であり、ただいまの貴重な意見も反映させていきたい。
-------------	---

質問	外に木の葉っぱがたくさん落ちているのが気になるが、ごみに出していいものかどうか、それとも有効資源として活用する方法があるのか。 また、今林業が国を挙げて育てなければならない産業となっており、スウェーデンと日本の林業は優秀とされているが、市ではどのように取り組んでいるのか。
-----------	---

畑中議員	木の葉っぱは、透明な袋に入れてゴミ収集場所に置いておくと、市が無料で回収してくれる。 林業については、音別地区・阿寒地区で盛んだが、林業の育成のほか、切った木をチップにして活用することにも取り組んでいる。
-------------	---

意見	釧路石炭火力発電所で燃やす木質チップは輸入すると聞いているが、釧路でチップを作れないのか。地元で資材があるのだから、釧路で使うものは釧路でつくってほしい。
-----------	---

続木議員	火力発電所で燃やすのは輸入品の木質チップの予定であり、釧路でつくるチップはほかの事業で活用されている。釧路コールマインの石炭を火力発電所で燃やすことや、火力発電所で作った電気を地元で活
-------------	--

	<p>用することは地産地消になるが、100%石炭ではなくCO₂をたくさん吸った木材を一緒に燃やすことで環境面の問題もクリアできる。100%輸入と聞いて、地元になんか山があり木があるのにおかしいじゃないかと委員会の中でも質問したが、釧路の山は製紙会社や国有林で押さえられていて使えない、全て断られたという答弁であった。釧路産の木質チップを100%有効活用しているかも含めて調査し、我々も注目していきたいと思うが、山の管理は時間もお金もかかるため、長期的なスパンで見えていく必要があると思う。</p>
--	---

意見	<p>議会報告会について、このような機会は非常に貴重であると思うが、周知が足りているのか、会場に入りやすいかが気になる。今日は10時からの開催だったが、MOOは10時開店なので、10分前に着いたがシャッターがおりていて店舗入口からは中に入れなかった。MOOが開店する前のふらっとへの入口を知らない人もいたので、10時半開始のほうがよかったのではないかな。</p>
松尾議員	<p>MOOの開館時間が10時なのに開始時間を10時に設定したことについて反省している。いただいた意見を来年度の開催に向けて生かしていきたい。</p>

意見	<p>市の「子ども子育て会議」に参加しているが、市自体が何を考えているのか、どういう方向に進んでいきたいのかを知りたくて来た。子どもと、子どもを育てている親や保護者について、どのくらいのウエイトで考えているのか。子育て世代のことだけを考えるのは無理だと思うが、考えないと生産年齢の割合が減少してしまう。</p> <p>「釧路わかもの△カイギ」で実施した18～39歳を対象としたアンケートで「釧路が好き」と回答した人は85%以上、まちづくり基本条例制定の際のアンケートで「釧路に愛着を持つ」と回答をした人は80%以上いるという結果が出ており、社会参画したいという意識を持っているのに、うまくつながらないもどかしさを感じる。</p> <p>行政にサークル等で何か活動したい、学びたいと相談しても「無理です」で終わってしまうが、「その分野であればこういう団体があります」など、行政が橋渡しをしてくれたら、あるいは行政ではなくてもそういう組織があれば、市民同士でもっとつながっていけると思うが、現在そういった機関やシステムはあるのか。</p> <p>社会教育の部分で、さまざまな団体等をつなぐ役割が大事であると思うが、そういう方向性が見えない。民間の方同士がネットワークでつ</p>
----	---

	ながっていると感じるが、行政が異文化同士をつなぐ役割を担ってもよいのではないか。
続木議員	現状は、行政としてそのような役割があるのかわからないくらい機能していない。これから子どもを育てていく世代に対する施策は、市としても重要なものになると考えており、さまざまな団体をトータルでつなげていくのは行政の役割なので、議会の中でもしっかり取り組んでいきたい。また、行政のさまざまな部署同士が連携をとっていけるよう、議会からも働きかけたい。

釧路市鳥取コミュニティセンター（コア鳥取）

開催日時	平成 29 年 10 月 25 日(水) 18:30～19:50
会 場	学習室兼会議室 A・B
参加人数	12 人
出席議員	<p>渡辺慶藏 議長</p> <p>梅津則行 議員（議会運営委員会委員、議会広報特別委員会委員：司会）</p> <p>大澤恵介 議員（総務文教常任委員会委員、都心部市街地整備特別委員会副委員長）</p> <p>戸田 悟 議員（経済建設常任委員会委員、水道事業審査特別委員会委員）</p> <p>工藤正志 議員（民生福祉常任委員会副委員長、石炭対策・関連エネルギー調査特別委員会委員）</p>

意見	今年度から文部科学省が全国学力・学習状況調査（全国学力テスト）の結果を小数点以下は公表しないこととした。釧路市教育委員会はいままで小数点以下も公表していたが、今年度は文部科学省にあわせて小数点以下を公表しなかった。釧路市は全国で唯一、基礎学力保障条例を制定しており、北海道教育委員会が学力向上策を打ち出したときには、北海道で一番に手を挙げたのに、なぜ小数点以下を公表しないのか。公表すべきではないか。
大澤議員	総務文教常任委員会において小数点以下も公表すべきとの議論があった。今後も議論を深めていきたい。

質問	衆議院議員総選挙の年代別の投票率が市ホームページに掲載されていないのだが、まだ確定していないのか。
大澤議員	選挙管理委員会事務局に確認する。

意見	中学生模擬議会はとてもよい取り組みだと思うが、釧路市の 18 歳・19 歳の投票率はほかの自治体に比べて低いと思うので、全国やほかの自治体と比べてどうなのかを分析してほしい。その結果、低いのであれば、主権者教育というものをもう少し前倒しして投票率を高めるなどの建設的な議論をするためにも、数値をいち早く公表していただきたい。
----	--

質 問	<p>基礎学力保障条例が制定されたことで学力はどうなっていったのか。また、教育委員会はどう動いているのかということが市民に伝わってこない。</p> <p>梅津議員は当時基礎学力保障条例に反対していたので、反対したほうの意見を聞きたい。</p>
大澤 議員	<p>本条例は努力目標であり、北海道の平均値をクリアすることが目標となっているが、北海道は全国の平均値をクリアすることを目標にしているので、結果的に全国の平均値をクリアすることが目標ということになる。教育委員会は目標達成に向けてさまざまな取り組みを行っているが、十分な成果が出ているとは言いがたい。教育推進基本計画は今年度が更新時期であるので、その中でさらに議論を積み重ねていかなければならないと感じている。</p>
梅津 議員	<p>条例が出来たからには条例に基づいて行政が進めるべきという立場である。賛成しなかった理由はさまざまあるが、一番は基礎学力の定義が自分の考えと違っていたということである。基礎学力が必要なのは当然のことであるが、基礎学力をどういうふうに捉えるかという部分で、その当時は文部科学省の考え方とは違っていたので賛成しなかった。</p>

質 問	<p>地域公共交通網形成計画の検討時に意見交換等があり、今後どうしていくかはこれから様子を見て決めていくということだが、どういったものを基準にしていくのか。</p>
大澤 議員	<p>公共交通網は、基本的にはバス会社が担っており、バス会社は民間業者なので赤字路線は廃止したいという思いがあると思う。その中で、市民の足となるべき公共交通であるバスをどう考えるかという基本的な考えの中で、他都市の例を参考にしながら基幹の道路を定め、そこに大きな拠点をつくってハブ化するという作り方をしている。基幹の拠点になるバス停をどこにするかを皆さんから意見をいただきながら模索している。</p>

意 見	<p>まちづくりにおいてコミュニティから意見を聞くということで、町内会の役割等についての議論があった。市内にはおよそ 180 のコミュニ</p>
-----	--

	<p>ティがあるが、町内会だけでなく、ほかのコミュニティに対して意見聴取や意見交換をしているのか。NPOや法人化しているところくらいは意見を聴取してはどうか。</p>
大澤議員	<p>コミュニティは町内会のほかにもサークルなどたくさんあるが、一番代表的なコミュニティは何かという流れの中で、連合町内会にお願いして意見の集約を図った。ほかのコミュニティをないがしろにしているわけではなく、市役所としては例えば地域公共交通網形成計画の策定に当たっては、無作為のアンケートも実施しており、幅広く市民の意見を抽出する努力をしていると思う。</p>
梅津議員	<p>市議会では議会報告会のほかに、各常任委員会においてさまざまな団体と意見交換会を開催しているので、その中で本意見をしっかりと伝えていきたい。</p>

意見	<p>どこにどのような町内会があるのかがわからない。市ホームページにも掲載されていないので、わかるような地図があるとよいと思う。</p>
工藤議員	<p>市ホームページなどで市民にわかりやすく周知するよう、民生福祉常任委員会の中で議論したい。</p>

質問	<p>IRについて、情報発信は誰がどういう形でやっていて、釧路市はどこを目標としているのか。また、IRの導入を検討している他都市は既に事業者と接触があったようだが、釧路市においてはそういった接触はあったのか。また、なぜ阿寒湖畔なのか。</p>
戸田議員	<p>情報発信については、釧路観光コンベンション協会とNPO法人阿寒観光協会まちづくり推進機構が、観光立国ショーケースや阿寒国立公園満喫プロジェクト等の動きと連動しながら、市や各地と連携して行っている。IRについては、阿寒湖畔の自然とマッチングし、富裕層を対象にした滞在型で、アイヌ文化などと融合した形にしたいというのが行政の考えである。既に運営をしている会社と協議し、常に情報共有しながらやっていくが、まだ国の動きが明確でないため、確定ではない。</p> <p>NPO法人阿寒観光協会まちづくり推進機構が阿寒湖畔の将来を考え、自然とアイヌ文化を生かしたIRを阿寒湖畔にといい思いがあり、経済界がその意向を受けて一緒になって誘致に動いてきた。釧路</p>

	市は東北北海道の拠点都市としての役割がある。十勝から網走までの範囲で釧路市が基軸となりいろいろな動きをしながら、東北北海道の拠点としてみんなで協力して進めている。
--	---

意見	観光立国ショーケースは、阿寒湖畔を中心に進められており、地域で温度差がある。選定されたチャンスを生かして、いろいろな取り組みを地域ごとに、例えば音別はフキ、大楽毛は馬など、それぞれの歴史や特性をアピールしていけば資源の一つに転化していくのではないか。地域ごとにいろいろな資源があるので、そういった部分の活用も観光立国ショーケースの候補等にしてほしい。
戸田議員	大楽毛については議会の一般質問でも議論しており、馬産は歴史であり観光振興につながるものである。音別のフキ紙については私自身も発言している。観光立国ショーケースには準備が間に合わなかったため、今、行政センターと経済界で準備を進めている。

意見	都心部まちづくり計画は、市の都市計画の担当部長が北海道から出向で来ているくらいなので本腰が入っていると思う。駅周辺の整備で高架化の問題もあるが、計画の段階で市民の意見を取り入れてほしい。
大澤議員	駅高架化については、無作為のアンケート実施のほか、市の職員が朝の通勤・通学の時間に駅前アンケート用紙を配布するなどして400人以上から意見を聴取している。また、地区連合町内会単位で市内5～6カ所の会館でワークショップを開催し、地図を見ながらこの道路を接続したらよいかなどといった議論をしたり、北大通の商店街ともワークショップを開催しているほか、商工会議所でも細かい議論をしている。ただ、和商市場など、さまざま関連するところの方々とも議論を深めていかなければならないと感じている。
戸田議員	都心部まちづくり計画と地域公共交通網形成計画は、コンサルタントに委託して協議している。お互いに協力しながら、年度末にどのような方法がよいのか結論を出すことになっている。

意見	高速道路が阿寒ICまでつながったことで人の流れが変わった。釧路西ICまで早くつながるよう力添えをしてほしい。
----	--

戸田議員	まだ開通されていない部分については、国のほうで調べた結果、地権者との調整が困難な土地がたくさんあることがわかり、それを全部調べて結果を出すには非常に時間がかかる。国が進めていることであり、最終的には3年くらいかかるだろうと言われているが、間違いなくつながる。
------	---

意見	IRの問題について、カジノは阿寒湖畔でよいが、中心市街地に何か違う形態のものを考えていけたらよいのではないか。
----	---

意見	クルーズ船の入港について、着岸する付近のエリアの景観が、廃墟ビルが多かったり、歩道の植栽柵の草が伸びたままになっていたりして、外国人観光客から見たら寂しい感じがすると思う。地域のコミュニティを結集してまちを盛り上げるという意識をつくっていったら、もっとまちが変わっていくのではないか。
----	--

戸田議員	街中の草木や街路樹の整備は予算が限られている。最近、企業の皆さんが社会貢献としてボランティアなどの協力体制をつくっていただいており、みんなで街をきれいにしながら観光客を迎えていこうという考え方で進めている。
------	---

意見	道路を走っていると、政党の看板が目につく。今はかなりきれいになったが、学校や公園の土地に一人の看板が5枚も6枚もあつたり、各政党が競うように看板を立てていたりする状況だった。しかもそれが朽ち果てて倒れ、大風が吹くと飛んでいくという事態だった。また選挙で同じようなことにならないかと心配している。公共の土地に無断で立てるのはやめて、きれいな道路にしてほしい。
----	--

阿寒町公民館

開催日時	平成 29 年 10 月 26 日(木) 18:30～19:32
会 場	視聴覚室
参加人数	13 人
出席議員	<p>渡辺慶藏 議長</p> <p>三木 均 議員（議会運営委員会委員、都心部市街地整備特別委員会委員、水道事業審査特別委員会副委員長）</p> <p>松尾和仁 議員（総務文教常任委員会委員）</p> <p>佐藤勝秋 議員（経済建設常任委員会委員、石炭対策・関連エネルギー調査特別委員会委員）</p> <p>鶴間秀典 議員（民生福祉常任委員会委員）</p> <p>河合初恵 議員（議会広報特別委員会副委員長：司会）</p>

意見	<p>質疑・一般質問の報告の中で町内会の加入率が低下しているという内容があったが、阿寒地区ではほぼ 100%が加入している。阿寒地区の場合は広報紙の配布を各町内会に委託しているため、小さな町内会であっても収入が入り活動資金となる。釧路地区の場合は、5 月から 11 月まで各町内会で環境美化活動をやると地区連合町内会に対して収入が入る。各町内会の事業に応じて補助金が交付される制度を実施している市があるはずなので、そういうものを調べて提案していけば、各町内会の励みになるのではないかと。</p> <p>今年も 3 つか 4 つの町内会が連合町内会に対して解散の申し出をしており、どのように歯どめをかけたらいいかは、市としても頭が痛い問題だと思う。議員としても、議員の任期を終えた後も町内会活動に力を入れ続けていけるような仕組みをつくっていかなくてはならないのではないかと。</p>
鶴間議員	<p>阿寒地区では広報くしろの配布を町内会にお願いしているが、そういった連携を釧路地区に当てはめるのはなかなか難しいというのが実情である。町内会事業に対する補助については、老人クラブには過疎債のソフト事業に対しての補助があり、そういった財源的な部分を含めてどのようにできるのかということはあるが、よいご意見をいただいたので、議会のメンバーに報告させていただきたい。</p>

意見	<p>釧路市の場合、連合町内会に加入していなければ組織としてカウントをしていないが、市営住宅や集合住宅でも自治会をつくっており、これらが加入すると加入率は 50%を超える。自治会も町内会も一緒であると思うし、連合町内会に入るか入らないかは自由だと思う。</p> <p>災害の関係では、去年釧路市で開催された道東都市町内会長大会で、新栄町の町内会長から、町内に高い建物はないし、高齢化してきているので、津波が来たら逃げようがないという話があったが、このように訓練をしようとしてもできない町内会もある。国交省からの指示で今年から 3メートル以上の津波を想定した避難訓練にやり方を変えているが、町内会が高齢化して先に立つ人がなかなか動けなくなってきた中で、避難訓練の仕方もどのようにリードしていったらよいか議会で検討してほしい。</p>
松尾議員	<p>町内会における避難訓練は悩みが多いが、入舟のあたりの町内会や、大楽毛地区の方々が一生懸命やっている事例を新聞等で見ているし、委員会でも報告を受けている。町内会の隣近所における助け合いの基盤づくりを日ごろからしっかりやっていかななくてはならないのはもちろんだが、ハードとしての建物の避難場所のあり方や、避難訓練のあり方を、委員会でも改めてしっかり議論していきたい。</p>
河合議員	<p>災害の問題に関しては、まずは自助、共助、公助である。津波が来た際には、まずは高い建物に逃げるのが一番ということは私自身も感じているが、市としては公共の建物には避難してくださいと言えるが、民間の建物には言えないところもある。</p> <p>町内会の話については、確かに道営住宅や市営住宅の自治会は算入されていないが、それらが加入すれば加入率は 50%以上になるので、今の話をしっかり議員間で共有しながら、どのようにして加入率を向上できるか、しっかり検討していきたいと思う。</p>

意見	<p>阿寒湖畔から弟子屈町に向かう途中に双湖台という場所があり、そこからペンケトーとパンケトーという 2つの湖が見えるのだが、最近、木が成長してきたせいで見晴らしが悪くなってきている。また、高い場所から写真を撮るために皆さんが上るせいで木の柵が壊れていたり、路面にも高齢の方が歩きづらいような陥没がある。観光立国ショーケースなどで多くの観光客に来てもらおうとしている中で、優先度は低いかもしれないがそういった場所にも予算をつけてほしい。</p>
----	--

佐藤議員	経済建設常任委員会の中で同じような質問と問題提起があり、担当部署には伝わっているが、国立公園の一部であるため勝手に木を切ることができない。一方で、釧路市としては観光名所であるので、訪れた方々が、柵を含めて老朽化し、路面も傷んでいる実態を目にすることは甚だ印象が悪い。環境省など所管の問題も絡んでくるが、危険な部分を取り除くということは大前提であるし、美観を損なう部分については応急処置も含めてしっかりと対応すべきだと思うので、早急な対応がなされるよう申し伝えたい。
鶴間議員	木が伸びたりといった環境の部分については観光客にとって非常に目につくところである。現地は特別保護地区なので木を切ることが難しいが、双岳台の木を切った実績もあるので、地元として一緒にしっかりとお願いをしていきたいし、議会としても要請していきたい。

意見	水道の料金改定が実に 18 年ぶりということは異常である。微増していくのが一番よいやり方であって、このように一気に 20% 近く上げるやり方は感心できない。改定には理解を示しながらも急激な変化を心配するということが必要だと思う。
三木議員	おっしゃるとおり水道料金は平成 12 年から 18 年間上げていない。長年の蓄積で一挙に 19.5% の改定というのは確かに大きな数字であるが、上げてこなかったことについては 2 つの見解があり、1 つは 18 年間よく抑えることができたという考え方、もう 1 つはなぜ今まで放っておいたのかという考え方である。そういったことは議会としてしっかりと監視すべきであり、議員の責任というのにも確かにあるとは思いますが、少しでも市民負担を軽減する方向で一生懸命議論している。今回は 19.5% の値上げとなったが、本当は 31.3% 値上げするはずであった。これではあまりにも市民生活への影響が大きいことから、一般財源から 13 億 7,200 万円補填することによって 11.8% 圧縮し 19.5% になったということで、できるだけ市民に影響がないよう配慮したということである。

質問	大型ホテルは大量に水を使うため、料金改定は経営を相当圧迫すると思う。釧路地区にも大きなホテルがあるが、料金は一律なのか。
三木議員	19.5% の料金改定というのはあくまで平均であり、一般家庭を中心に

	<p>した数値であるので、企業等の使用料については管の太さなどで変わってくる。</p>
<p>佐藤議員</p>	<p>水道料金を 18 年間何も努力せずに放っておいたわけではない。釧路市では水産業がホテルの比ではないくらいに水を使っており、水道料金を上げるということは家庭だけではなく経済に与える影響も甚大である。釧路市の水道事業会計は健全経営を続けてきたおかげで基金の蓄えがあり、18 年間にわたり市民生活や経済活動に影響を与えないよう内部努力を重ねてきたというのが現実である。</p> <p>今回、一般会計から 10 数億円補填したのは、市民の水道料金の負担を抑えるという理由もあるが、一方で、今後 50 年、100 年後まで安心安全な水道をつくっていくために長年の課題であった愛国浄水場の更新という英断をされており、そのことに対し一般会計としても負担したため、水道料金の値上げを低く抑えることができたということもご理解いただきたい。</p> <p>長年蓄積された水道技術があり、日本全国どこに出しても一番と言えるくらいの品質を保っているのが釧路の水道水であり、それを今後も市民の皆さんにできるだけ安い値段で提供していくためにも、今回の値上げの措置はやむを得ないものと議会としては判断している。</p>

音別町コミュニティセンター

開催日時	平成 29 年 10 月 26 日(木) 18:30～19:30
会 場	研修室 1・2
参加人数	10 人
出席議員	秋田慎一 副議長 松橋尚文 議員（議会運営委員会委員） 森 豊 議員（総務文教常任委員会委員、議会広報特別委員会委員：司会） 松永征明 議員（経済建設常任委員会副委員長、石炭対策・関連エネルギー調査特別委員会委員、水道事業審査特別委員会委員） 梅津則行 議員（民生福祉常任委員会委員） 村上和繁 議員（都心部市街地整備特別委員会委員長）

意見	市立病院の新棟建設において、音別の木材をふんだんに使った設計をしてほしい。
梅津議員	病院において木材のようなぬくもりのある材質を使うことはとても大事なことだと思う。12 月定例会において実施設計の内容を審査することになると思うので、その際に担当部に伝えしっかり議論していきたい。
松永議員	市議会の全会派で林産業の活性化を推進するための議員連盟をつかっており、木材の活用などについても国に対して要請を行っているし、議会の中でも議論をしている。

意見	釧路石炭火力発電所について、石炭と木質バイオマスを混焼するということが、木質バイオマスの割合をもっと増やしてもよいのではないか。
森議員	事業会社との意見交換の中で、ぜひ地元産の燃料を使う体制をとってほしいという話もあった。事業の内容がまだ全てははっきりしていない状況であるが、そのようなご意見があったことを事業会社に伝えたい。

意見	市立病院で受診する際の待ち時間が長く、音別町から行くと一日かかってしまう。遠方から来た人はなるべく早めに対応してもらえるようにしてほしい。
梅津議員	待ち時間の課題は市立病院も含めて大きな病院全てに共通するものと思うが、新棟建設の議論が今まさに議会の中でもされているので、その中でハード面だけではなくてソフト面についても、来院する患者の皆さんが本当に満足できるための議論を委員会でもしていきたい。また、委員会において医師の過重労働が大きな問題になっており、市立病院のみならず釧路市全体としての医師確保という課題に力を入れながら、患者の皆さんにしっかりサービスを提供できるように進めていくという議論の中で、今のご意見もしっかり伝えていきたい。

意見	書類の中で読み方がわかりづらい名前には振り仮名をふってほしい。
森議員	現在いる議員には、読み方がわかりづらい名前の者はいないと思うが、広報担当の委員会としてご意見を受けて今後に生かしていきたい。

意見	生活保護受給者は医療費が無料となるが、一生懸命働いていながら不幸があったなどして受給している人はともかく、そうでなければ不公平ではないか。
梅津議員	生活保護の不正受給や、医療費についても過剰診療というものが実際にあるが、釧路市ではレセプトを見て本当にその診療が必要かどうかというチェックを行っており、過剰診療も少しずつ減ってきている。今回の9月定例会において、精神疾患で働けなくなった若者など実際に生活保護の申請をしているのはどういう人たちなのかという議論をしたが、一方で今ご指摘があったような問題もあるわけで、そこは法律に基づいた対応がされているものと思う。お話があったことについてはしっかりと受け止めて、今後議論させていただきたい。

質問	パンクル湖畔や尺別駅前にある空き家が非常に見苦しいので、所有者に関係なく強制的に解体することができないのか。
----	--

松永議員

それらの案件については議会の中で今のところは議論されていないが、今回のご意見を踏まえて行政のほうに話をしていく。全体的な空き家対策としては、不良空家等除却補助制度として除却工事費の3分の1、30万円を限度に市が補助するというので、予定件数を超えた申請があったとの報告を受けている。

釧路市東部地区コミュニティセンター（コア大空）

開催日時	平成 29 年 10 月 27 日(金) 18:30～19:50
会 場	学習室兼会議室 A・B
参加人数	5 人
出席議員	<p>渡辺慶藏 議長</p> <p>鶴間秀典 議員（議会運営委員会委員、議会広報特別委員会委員：司会）</p> <p>高橋一彦 議員（総務文教常任委員会委員、石炭対策・関連エネルギー調査特別委員会委員）</p> <p>山口光信 議員（経済建設常任委員会委員長）</p> <p>岡田 遼 議員（民生福祉常任委員会委員）</p> <p>松永俊雄 議員（都心部市街地整備特別委員会委員、水道事業審査特別委員会委員）</p>

質 問	国民健康保険料の収納率はどうなっているのか。
岡田議員	平成 28 年度の収納率は 86.1%となっており、前年度から 0.6%上昇している。
質 問	保険料を払っていないにもかかわらず、国民健康保険証をもらって病院にかかり安く診療してもらっている人がいると考えてよいのか。
岡田議員	いろいろな理由があるが、保険料を納入期限内に納めることができない方もいる。そのため、分割で支払いをされている方の中には、滞納繰越分となることもある。
高橋議員	個人事業主などの場合、経営状況によっては払うことができなくなる方もいる。市としても収納率を上げるための努力はしている。

質 問	全会一致で可決された陳情の内容について教えてほしい。
鶴間議員	軽油引取税の課税免除特例措置の継続を求める件というもので、スキー場のリフトや重機などに使用する軽油への課税免除の措置を、平成 30 年 3 月末以降も継続してほしいという内容である。

質 問	水道料金を平均 19.5%値上げするということであるが、値上げのうち、老朽管の更新にはどの程度の財源を充てるのか。
松永議員	<p>釧路市の場合、水道管は約 920 キロメートルあり、そのうち約 650 キロメートルが老朽管となっている。老朽管全体を交換するには約 1,500 億円の費用がかかる試算もあるが、計画では年間 16 億円程度の予算で老朽管の更新を行い、10 年間で 150 億円という予算を見込んでいる。</p> <p>老朽管の更新を進めるためには水道料金だけでは賄い切れないため、資産維持費という新たな考え方が導入されている。今回は負担を軽減するため、市の予算から特別に 13 億 7,000 万円ほどを資産維持費として水道事業会計に繰り入れした結果、値上げが 19.5%に抑えられたという経過である。</p>

質 問	<p>広報くしろに Jアラートを活用した住民への弾道ミサイルの情報伝達とあったが、9月の Jアラート発令の際、白樺地区には防災無線がないようで、気づかなかった人が高齢者などに多く見られた。携帯電話でもアラートが受信できない機種があり、テレビなどをつけていない場合のためにも、今後設置の予定などはあるのか。</p>
高橋議員	<p>防災無線の整備は引き続き行っているが、今回の件については担当課に報告する。</p>

質 問	<p>議会の今後の取り組みとして災害指針の策定としているが、いつごろまでにつくられるのか。</p> <p>町内会で、災害があった場合の対応について議論しており、避難場所に集まった時点で使える広報班、医療班、食事班などの組織図をつくりたいと考えている。既に避難に関する組織をつくっている町内会があれば参考までに教えてもらいたい。</p>
渡辺議長	<p>市は災害対策本部を召集し対応しているが、議会としては議員がそれぞれの地域・部署で個々の判断で災害対策に取り組んでおり、市の災害対策本部の情報が議員へ提供される連絡体制となっていない。</p> <p>そのため、災害対策本部と議員が情報共有を行い、住民の命や財産を守る活動をしっかり議会としても行う必要があるということで、各会派の幹事長を中心に協議を進めている最中である。</p>

高橋議員	私も第二若草町内会におり、お年寄りや一人暮らしの方が多いため、災害があったときはお互い助け合っていないといけないという話はしている。武佐地域の場合は下町連町や地元の消防団などと連携し避難訓練を行うことや、集中豪雨のときや冬場の避難なども考えていく必要があると思う。
松永議員	津波対策として、身体の不自由な方や高齢者の避難訓練を浪花町や入舟の町内会では行っているようなので参考になると思う。

意見	Jアラートや災害の対策として、雪、津波、地震、台風、ミサイルなど、具体的な事例に分けて訓練を行うことができれば、どのように対処するかという指針ができると思うので、その指針を市から市民へ周知してくれると安心して暮らせると思う。
高橋議員	今回のご意見は市及び委員会においても話をさせていただく。

質問	質疑・一般質問の報告に、錦町立体駐車場に事前精算機の導入をとあったが、駐車料金が一律となるということなのか。
山口議員	現在の錦町駐車場の料金の支払いは、乗車して駐車場を出る際に精算する方法であるが、今回の質問は乗車前に精算を行うことができるようにすべきという内容であり、料金が一律ということではなく、出庫の際の混雑を解消したいというのが質問の趣旨である。
意見	混雑していると排気ガスの臭いが気になる。
高橋議員	混雑解消もあるが、排気ガスの滞留を解消する目的もある。

質問	白樺地区のエゾシカ対策について、市街地で猟銃の使用ができないことはわかるが、広報くしろには駆除、捕獲、追い払いもだめと書いてある。どのように対応したらよいのか。
岡田議員	エゾシカに関しては、市の環境保全課が対応することになるが、市街地のため、わなも仕掛けられない、銃も使えないという状況である。エゾシカによる花壇の被害などの話も聞くが、対策としては自分で網

	をかけるなどの自衛策をとってもらえない。最近では春採湖周辺に住みついていて、新たな対策について議論を進めていきたい。
--	--

質 問	市営住宅で動物を飼っている人が多く、町内会の役員である自分に苦情が寄せられる。しかし、同じ町内会の人に注意できないので、市のほうで見回りなどができないか。
-----	---

山口議員	市営住宅での動物の飼育は禁止されているので、今回の件については担当課へ報告するが、苦情が続くようであれば、匿名の扱いで対応ができるので、市役所へ連絡してほしい。
------	--

質 問	市の空き家対策について議会ではどのような議論がされているのか。また、釧路市はコンパクトシティを目指しているが、空き家が増えているところを市が借り上げ市営住宅として活用することなど、釧路市独自の空き家対策を議会で考えていくことはないのか。他都市を参考にするとどうしても個性がないので、生活保護の取り組みのように釧路市独自の空き家対策を行ってはどうか。
-----	--

山口議員	現状の空き家対策としては、今年度から補助制度をスタートさせ、1件30万円を上限に解体費の補助を行っている。10件分程度の予算規模であるが、空き屋をそのまま放置することなく解体を促すシステムをつくったところであり、次年度も引き続き実施する考えである。 ご提案の空き屋の活用は、市も予算や所有権の問題などもあり現状では難しいと考えている。新たに住宅セーフティネットという制度の指針が国から示されたが、内容としては、空き家や空きアパートに対し、国と自治体が補助を出し合って有効活用していくもので、来年4月からの運用に向けて議論されている。釧路市としてもどのように活用できるか検討していきたいという状況である。しかし、人口減少により市営住宅を減らし、また、民間アパートの空き家も増えている中で市の管理戸数を増やすということは難しいと思われるが、ご意見として市に伝えたい。
------	--

意 見	例えば親が亡くなり残った住宅が築20年ぐらいで、子どもたちは釧路を離れているような場合、空き家になった住宅は壊すにもお金がかかるため、子どもたちにとっては邪魔なものである。放置されるのであれば長期滞在者に貸すなど活用ができないかという思いで聞いた。
-----	--

意見	空き家でも建物が建っていれば更地の場合よりも固定資産税が安くなるので、壊さないでそのまま残している住民もいるのではないか。
山口議員	固定資産税は建物があるかないかで金額が違う部分があるが、法律上、市ができる範囲は決まっており、国の抜本的な対策が必要だと感じている。居住者が亡くなって遺産相続がされていない場合、宙に浮いた状態となった住宅が今後増えていくと考えており、それに対して市が何かするという事は法律的に難しい。そういったことも踏まえて国が法整備も含めた対策をしてほしいところである。

質問	市として、空き家の数や、税金対策で建物をそのままにしている状況を把握しているのか。
山口議員	市としても状況は把握しており、空き家、空きアパートについても細かい数字ではないが大まかなものは押さえている。

意見	釧路火力発電所の話が進んでおり、住民説明会が行われている。環境面での住民の不安がクローズアップされているが、一方で、電力自由化があったからこそ火力発電所の建設という話になったということもある。太陽光やバイオマス発電などを含めて地域電力として火力発電を組み込み、住民サービスや地域への還元などを議会として検討してほしい。
高橋議員	国から、輸送費が高いので地元の石炭を使ってはどうかとの意見もあったが、今回の火力発電所の計画は議会も含め、地元の炭鉱を守るといった思いであると思っている。 住民の方々が快適に生活できる話と、炭鉱を存続させて雇用を維持する話が双方あることは理解している。近隣住民の皆様には恐縮ではあるが、火力発電所については環境アセスメントの実施や住民説明をしっかりと行うよう議会としても市に伝えている。
鶴間議員	ご質問のあった地域電力としての取り組みは鳥取市などが先進地であり、議会でそのような質問もでていますが、まだ議論は進んでいない。

質問	石炭を燃やす火力発電所の建設を検討しているという理解でよろし
----	--------------------------------

	<p>いか。そうであれば石炭以外の燃料、例えば地域のごみなどを環境に配慮して燃やすなど、スペックを上げた発電所にすることは可能なのか。</p>
<p>高橋議員</p>	<p>石炭を利用する火力発電所の場合でも、石炭だけではなく木質燃料を混ぜる必要があるが、木質燃料の代わりにごみを燃やすことはできない。</p>
<p>鶴間議員</p>	<p>ごみ利用については、高山にある広域連合のごみ処理場では電力として使用している。</p>

アンケート集計結果

会場別参加者数

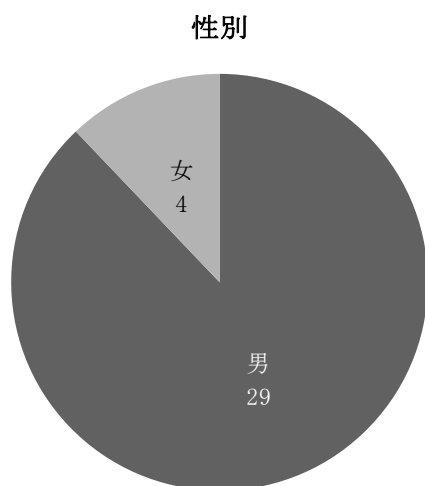
日	会場名	平成29年度	平成28年度	平成27年度
10月23日(月)	釧路市役所本会議場	4	9	10
	釧路市役所本会議場(昼)	-	-	23
10月24日(火)	釧路市中部地区コミュニティセンター(コアかがやき)	6	11	14
10月25日(水)	釧路市男女平等参画センター(ふらっと)	4	19	-
	釧路市鳥取コミュニティセンター(コア鳥取)	12	23	23
10月26日(木)	阿寒町公民館	13	18	13
	音別町コミュニティセンター	10	8	25
10月27日(金)	釧路市東部地区コミュニティセンター(コア大空)	5	-	6
	釧路市労働者福祉センター(サンライフ釧路)	-	6	-
合 計		54	94	114

今年度の参加者数は合計 54 人、昨年度比 40 人の減であった。

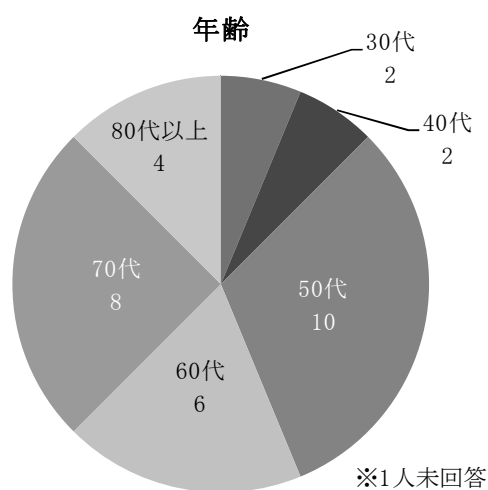
会場別では、増えているのは音別町コミュニティセンター（2 人増）のみであり、本会議場、コアかがやき及び阿寒町公民館は各 5 人減、コア鳥取は 11 人減、ふらっとは 15 人減った。

また、橋南・春採地区の会場を昨年度のサンライフ釧路からコア大空に移して実施したが、参加者数は 1 人減であった。

アンケートは、参加者数 54 人のうち 33 人から回収した。以下、会場全体を通してのアンケート結果について報告する。



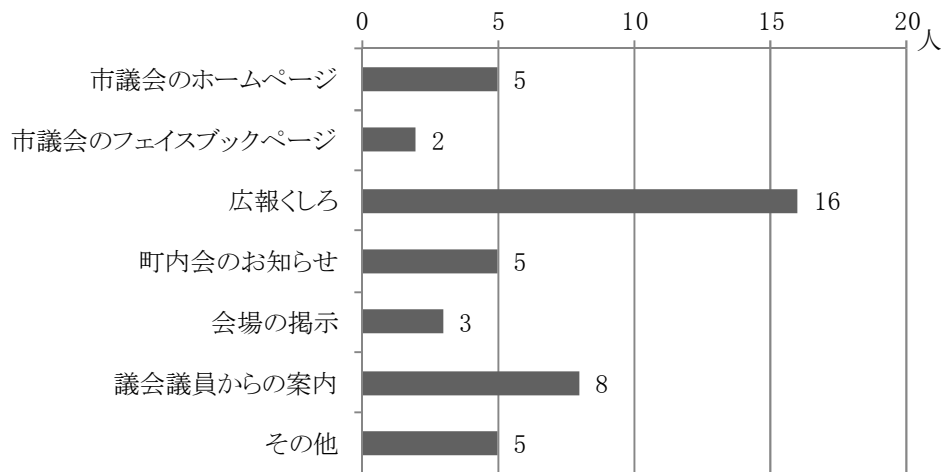
性別は 8 割以上を男性が占めた。



年齢は 50 代が最も多く、次いで 70 代、60 代の順に多かった。30 代と 40 代は合計しても全体の 1 割にとどまり、20 代以下の参加者はいなかった。

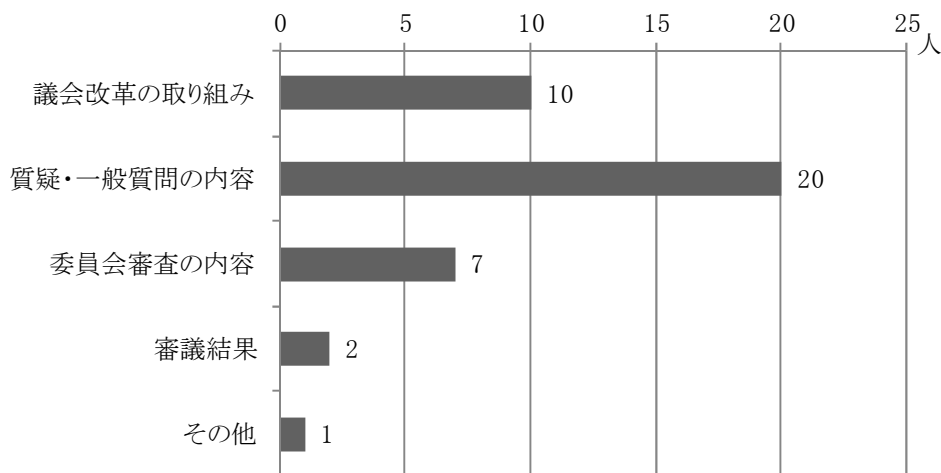
※以下の設問は複数回答方式。

報告会の開催をどのように知りましたか



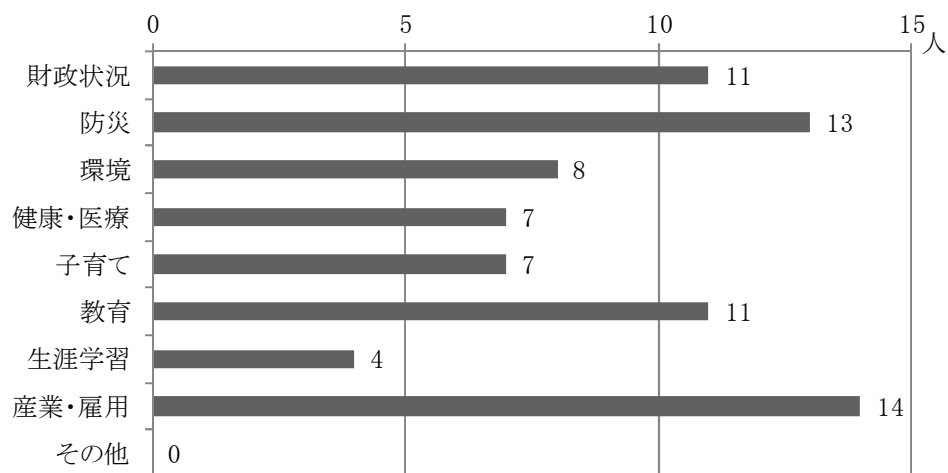
報告会の開催を知った方法は、「広報くしろ」が最も多く、次いで「議会議員からの案内」、「市議会のホームページ」と「町内会のお知らせ」、の順に多かった。「その他」の内容は、ポスターと新聞報道であった。

議会から報告された内容で関心を持った事項は何ですか



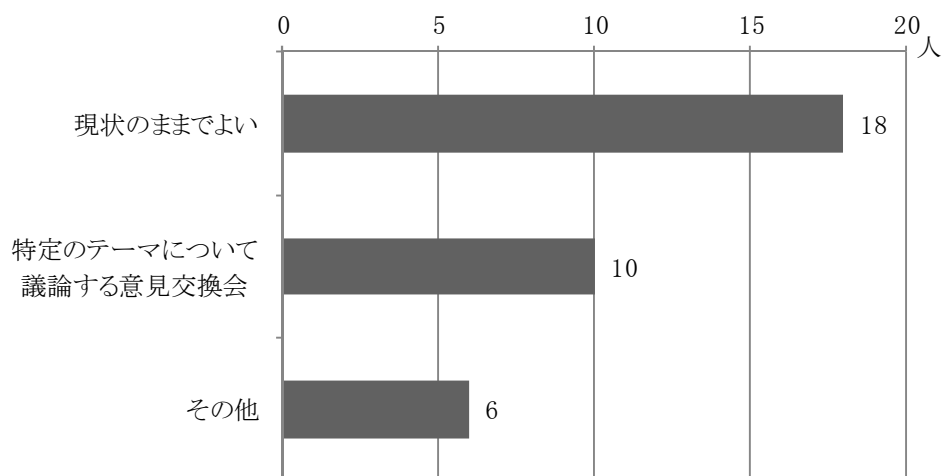
報告内容で関心を持った事項は、「質疑・一般質問の内容」が最も多く、次いで「議会改革の取り組み」、「委員会審査の内容」の順に多かった。

市政に関して興味のある事項は何ですか



市政に関して興味のある事項は、「産業・雇用」が最も多く、次いで「防災」、「財政状況」と「教育」、「環境」の順に多かった。

議会報告会について、今後どのような形での実施を望まれますか



議会報告会の今後の実施形態については、「現状のままでよい」が最も多かった。

「その他」の内容としては、参加者数の増や多様な年代の参加に向けた工夫を望む意見、地域の要望を聞く集い等の開催、また、現状の形態と特定のテーマについて議論する意見交換会を合わせた形での開催を望む意見があった。

ご意見（「皆さんの声をお寄せください」に記載された内容）

受付会場	意見内容
<p>釧路市男女平等参画センター （ふらっと）</p>	<p>このたびは、貴重なお時間をつくっていただきありがとうございました。子育て世代も参加しやすいように平日の午前中に設定していただけたことも嬉しく思います。「市民にわかりやすい開かれた議会」に対して、市民ももっと関心を持たなければと思います。このような活動や、中学生模擬議会など、自分たちが住んでいるまちがどのようにできるのか考える、知るきっかけはとても大切なことだと思います。その先はみずからが責任を持って行動する。その方向性も含め、これからの市議会に関心を持っていきたいと思います。多様な意見を聞くことは大変なことだと思いますが、頑張ってください。私も頑張ります。</p>
<p>釧路市鳥取コミュニティセンター（コア鳥取）</p>	<p>主催議員の皆様、お疲れさまです。一昔前に比べ議員さんの活動がさまざまな場面で見受けられ、住民との距離感を感じることなく気軽に話せるようになったと思います。市内には、まだまだ地域格差を感じます。もっと各地域をクローズアップするような催しなど、地域住民が結束できるような場面があればと思います。各地域の活性は釧路の中心から…。いま一度、釧路市の中心、位置づけ、活性化を図り、見通し、風通しのよいまちづくりを住民との対話の中から構築していただければ幸いです。</p>

(参考資料) スライド



議会基本条例を制定（平成23年）

「市民にわかりやすい開かれた議会」

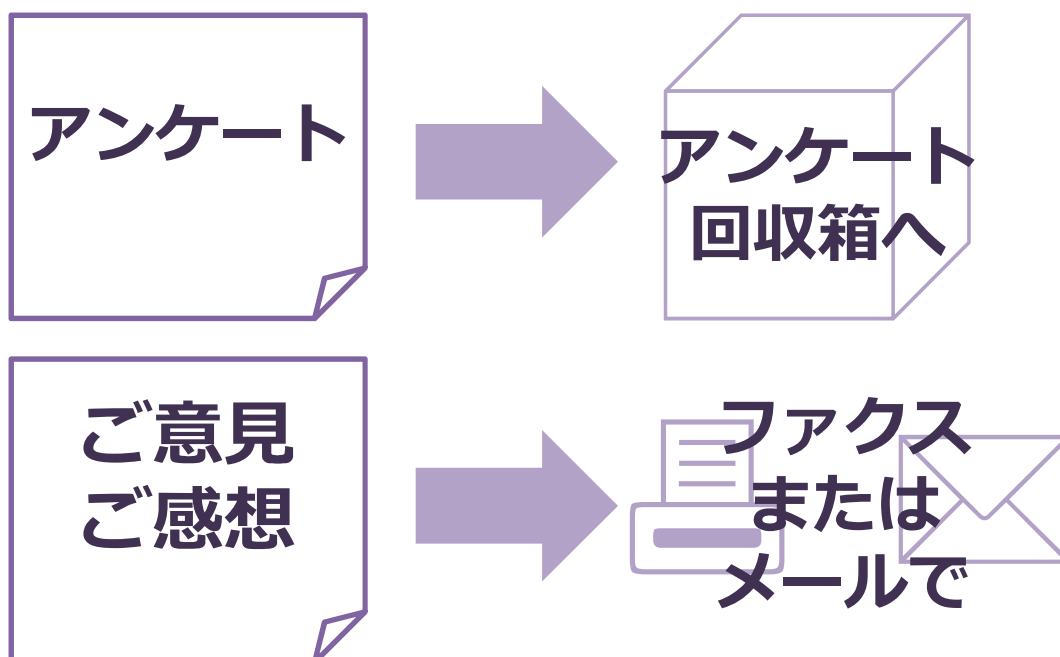
- ・市民への情報発信と説明責任を果たす
- ・市民と情報や意見交換する場を多様に設ける

そのひとつが「議会報告会」

本日の次第

1. 議会改革の取り組み
2. 9月定例会の報告
 - ① 会期
 - ② 質疑・一般質問
 - ③ 各委員会審査
 - ④ 審議結果
3. 質疑応答、意見交換

ご協力をお願い



議会改革の取り組み

平成23年度	議会基本条例制定 議会報告会の実施 一問一答方式の採用（選択制）
平成24年度	本会議中継の拡充
平成25年度	関係団体との意見交換会の実施
平成26年度	議長交際費の公表 市議会フェイスブックページ開設
平成27年度	政務活動費領収書の全件公表

中学生模擬議会



今後の新たな取り組み



議会としての災害指針の策定

9月定例会の日程

主な日程（会期 21日間）

9/6 (水)	7 (木)	8 (金)		11 (月)	12 (火)	13 (水)	14 (木)	15 (金)			19 (火)	20 (水)	21 (木)	22 (金)		25 (月)	26 (火)
市政報告、提案説明 質疑・一般質問（4人）	質疑・一般質問（5人）	質疑・一般質問（5人）		各常任委員会審査	各常任委員会審査	各常任委員会審査	各常任委員会審査	採決			各決算審査特別委員会審査	各決算審査特別委員会審査	各決算審査特別委員会審査	各決算審査特別委員会審査		各会計決算審査特別委員会審査	採決



質疑・一般質問

9

質疑・
一般質問
1

中学校授業における問題点の是正を

中学校の授業で、教科書を使わない、板書しない、プリントのみという指導法を、黒板を用い、板書するという従来型の授業を行うよう是正すべきと考えるがどうか。

ノートの使い方を指導することは、思考力・判断力・表現力を身に付けるためにも重要な役割を果たすと認識しており、各学校の実態に応じて指導の充実を図っていきたい。

10

市営住宅家賃減免制度の周知を十分に

市営住宅の家賃減免制度を利用している入居者の割合は5%だが、札幌市では34%となっており、この利用率の差についてどう考えているか。また、制度の周知を十分にすべきではないか。

自治体ごとに制度設計が大きく異なるため、利用率については単純な比較はできないが、「入居のしおり」と「住宅だより」により、制度は一定程度理解されているものと認識している。

市民協働のまちづくりにおける町内会の役割とは

「市民協働のまちづくり」の中心的役割は、これまで町内会が担ってきたが、加入率が低下する中、今後、防災や福祉事業を実施するに当たり、どこまでの役割を町内会に求めていくのか。

町内会にはこれからも地方自治の中心的役割を担っていただきたいと考えているが、今後は学校などさまざまなコミュニティと連携しながら市民協働の在り方を検討していきたい。

質疑・
一般質問
4

錦町立体駐車場に事前精算機の導入を

錦町立体駐車場の利便性向上に向け、事前精算機を導入すべきと考えるが、見解を聞きたい。



事前精算機の導入は、出口での精算時間の短縮や、場内での待ち時間分の料金が請求される不安を解消するなどの効果があると認識しており、新年度の予算編成の中で検討していきたい。

質疑・
一般質問
5

就学前児童まで乳幼児医療費の無償化対象拡大を

現在3歳までの児童を対象に自己負担分を無償としている乳幼児医療費助成の対象年齢を、就学前児童まで拡大すべきと考えるが、見解を聞きたい。

他都市の状況や国・道の動向などを注視するとともに、子育て支援施策全体にどのように位置付けるかも含め、しっかりと検討していきたい。

市のイメージアップのために観光大使の増員を

市の観光大使の人数を増やすため、任命基準等を見直し、多くの人や団体に募集をするべきでないか。また、「釧路観光タンチョウ大使」や「フアイン大使」との一元化を図ってはどうか。



他都市の任命方法なども参考に運用について検討していきたい。「釧路タンチョウ観光大使」は目的が同じことから、観光コンベンション協会と今後の方向性について協議したい。



委員会審査

道の駅阿寒丹頂の里

市民や観光客の安全安心のために、道の駅阿寒丹頂の里（クレインズテラス）の避難施設としての機能充実を図るべきではないか。



災害時の避難施設としての機能などが整備されていることから、指定避難施設の指定に向けた協議を進めており、速やかに対応したい。

観光立国ショーケース

観光立国ショーケースに係る取り組みにおいて世界一級の観光地として、滞在型観光地づくりを目指すとしているが、I R誘致に係る取り組みとの並存についてどのように考えているのか。

I R誘致は世界一級の観光地として認めてもらうための機能の一つとして考えており、外国人には、日本の中の北海道にある釧路という地域を知ってもらい、訪れてもらうことが重要と考えている。

国民健康保険運営の都道府県単位化に当たり、釧路市国民健康保険事業支払準備基金の活用等、保険料の引き上げを抑制する方策を求めるが、見解を聞きたい。

適正な保険料の設定に努めていくことが必要であると考えており、道から示される市町村の標準保険料率等を参考に、さまざまな観点から検討していきたい。

水道事業審査特別委員会

審査 日程

7月7日、8月1～3日・9日・22日
(6日間)

審議 内容

水道料金改定案に係る水道施設の整備計画や財政収支計画、料金の算定、経費削減、老朽管の更新、市民への周知方法などについての議論

付託 案件

平成29年度水道事業会計補正予算
水道事業給水条例等の一部を改正する条例

9月15日
賛成多数で可決

釧路火力発電所

釧路火力発電所稼働後の環境の変化について、住民に対する丁寧な説明や、きめ細かな情報提供をすることが大変重要であると考えているが、理事者の見解を聞きたい。

発電所稼働後の近隣住民の暮らしへの影響が少しでも低減するよう、事業者とともに方法を検討していくとともに、説明会開催の在り方を含め、市としてしっかり取り組んでいきたい。

都心部まちづくり計画

都心部まちづくり計画の検討に向け、意識調査や意見交換会を実施したが、若者など、より幅広い意見を取り入れるべきと考える。また、今後意見交換会は行うのか。



地域公共交通網形成計画の検討時に行った学生ワークショップの結果を含め、意見集約をしていくとともに、情報提供と意見聴取の機会については、計画づくりの節目ごとに検討していきたい。

9月定例会で審議された議案

議案

今定例会提出
33件

可決
認定
同意

全会一致 24件
賛成多数 9件

継続審査中

可決

賛成多数 2件

意見書、決議

13件

可決

全会一致 10件
賛成多数 3件

陳情

全会一致 1件
継続審査 1件

可決

質疑応答
意見交換

